



安全就業ニュース



すべての災害は防ぐことができる

安全はすべてに優先する

～ 安全就業の心得 みんなで守ろう10箇条 ～

- ①日頃から健康管理に努め、常に健康な状態で就業しましょう。(年に1回は健康診断を)
- ②仕事の前日は十分に睡眠をとりましょう。
- ③服装・履物・保護具はそれぞれの作業に適したものを着用しましょう。
- ④仕事を始める前には準備運動をしましょう。
- ⑤保護具や器具類は使用する前に必ず点検しましょう。
- ⑥加齢による身体の機能低下を十分認識し、無理をしないようにしましょう。
- ⑦仕事をするときは急いだり、慌てたりせず、安全第一を心がけましょう。
- ⑧就業の場は常に整理整頓を心がけましょう。
- ⑨共同で仕事をするときは、合図・連絡を正確に行いましょう。
- ⑩行き帰りも仕事のうち、交通事故に遭わないようにしましょう。

⚠ 就業上の注意事項について

～発注者からのクレーム、トラブルを防ぐために～

1. 発注者との事前の打合わせは必ず行ってください
「作業日時」「作業時間」など、丁寧な説明を心がけてください。
2. 就業報告書は正しく記入し、早めに提出をお願いします。
※白紙の就業報告書に押印を求める行為は、絶対にしないでください



センターが受注処理していない仕事が終了し、就業報告書の提出がなされた場合は、「無届就業」であり、センターが受注し会員に提供した仕事に該当しません。
このことは、明確な「センター就業規約」違反であり、最終的には、定款に基づき処分の対象となるような重大な規律違反です。

また、センターが受付をしていない「無届就業」についての事故やトラブルは、センターの評判を下げるだけでなく、対応についても各会員の自己責任で解決していただくこととなります。また、シルバー保険も適用されませんので、厳に慎んでください。

発注者から直接仕事を依頼された場合は、必ずセンター事務局に連絡をするか、発注者から直接事務局へ申込みをするよう説明してください。

お客様から、お礼の声が多数寄せられています。そのうち1件をご紹介します。庭木の手入れ：両三柳のお客様より「庭木の手入れをしていただき、25年ぶりに花が咲きました。ありがとうございました。」とお礼の連絡をいただきました。



★健康寿命の延伸大作戦★

出典：米子市健康対策課ホームページ
東京都医師会ホームページ

フレイルとは・・・

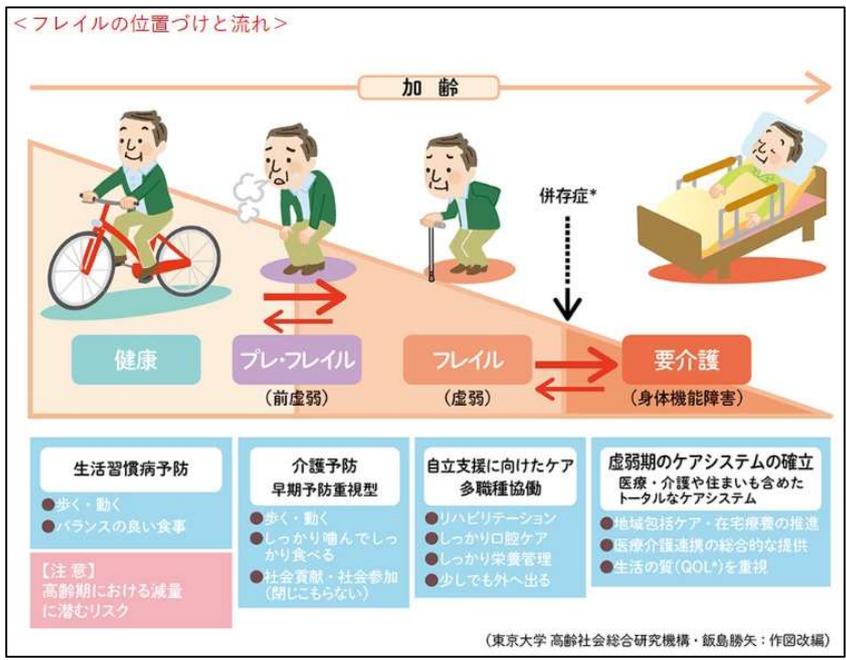
人は、年を取ると段々と体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気にならないまでも手助けや介護が必要となってきます。心と体の働きが弱くなってきた状態をフレイルと呼びます。

フレイルは早く気がつけば、健康な状態に改善できる段階です

フレイルは自分でもチェックできます。
簡単チェック！

- 歩くのが遅くなった
- 握力が低下した
- 疲れやすい
- 外出が減った
- 半年で2～3kg以上体重が減った

3つ以上当てはまるとフレイルの可能性がります。
3～4ヶ月に1回チェックしてみましょう。



フレイルかどうか確かめる方法

5項目のうち3項目以上該当すると「フレイル」、1項目か2項目該当するとプレフレイル(フレイルの前段階)と判断

- 体重減少：半年で2 kg以上減った
 - 筋力低下：握力が男性で28 kg未満
女性で18 kg未満である
 - 疲労感：ここ2週間わけもなく疲れた感じがする
 - 歩行速度低下：通常歩行速度1.0m/秒未満
 - 身体活動量の低下：週に1回もしていない
- (1)軽い運動・体操
(2)定期的な運動・スポーツ

就業先での事故について (安全標語：気を抜くな あせる気持ちで 事故の元)

事故発生状況(令和5年2月)
怪我をした、物を壊した・・・

安全はすべてに優先する。



- ・派遣は労災の手続き(治療費、休業補償等)が必要です。労働基準監督署に報告が必要な場合があります。
- ・請負はシルバー保険の手続き(治療費)が必要です。物を壊した場合は、賠償保険で補償対応することになります。

| No | 区分 | 性別・年代 | 事故の内容 | 損害の程度 |
|------------------------------------|----|-------|-------|-------|
| 事故0件です！ 引き続き無事故で就業をお願いします！！ | | | | |

安全はすべてに優先する・・・声かけを行うなど周囲の状況を確認しながら作業を行ってください
◎仕事をするときには急いだり、慌てたりせず、安全第一を心がけましょう
◎共同で仕事をするときには、合図・連絡を正確に行いましょう

※事故が発生した場合、すみやかに事務局に電話連絡してください(☎0859-32-2633)

一刻を争う場合は、迷わず「119番通報」して救急車を呼んでください

